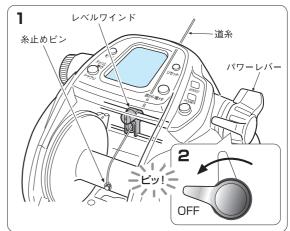
14シーボーグ750MT

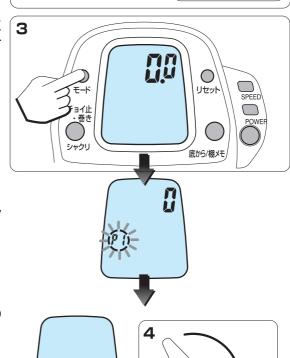
道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。 (PE6号700mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

- **1.**道糸をレベルワインドに通してスプール に結んでください。
- ※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- 2.パワーレバーを手前に戻します。



3.リールを通電させ表示が 0.0 のときに モード スイッチを5秒間押し続けて ください。

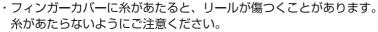


右図のような表示に変わり P1 が点滅します。

- ※ドラグがゆるんでいると糸が巻けませんので、しっかりとドラグを締め込んでください。
- **4.**パワーレバーをMAXの位置まで倒して 道糸を巻きます。
- ※安全のため、パワーレンジでスタートしますが、 モーター過熱防止のため、スピードレンジに切り 替えて巻上げを行ってください。

パワーレバーを倒すと P1 (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。

パネル左下の数字がスピードレンジで6~8になるようにテンションを調整して巻いてください。



・屋内で低速・高テンションで長時間 (※1) かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し、故障の原因になります。できるだけ速いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

(※1)10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマ一部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

<u></u>注意

5.巻き終えたらレバーをOFF位置まで戻し ます。(アラーム音)

<u></u>注意

・糸の端を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、 ハンドルで巻いてください。巻き込みますと カウンター誤差の原因になります。





6. リセット スイッチを2秒以上、表示が **6** 500 になるまで押してください。

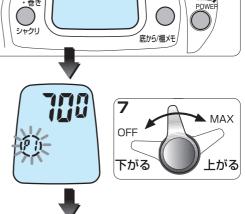
(500は初期値です。)



7.パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

(図は、700m入力した場合です。)

ば完了です。



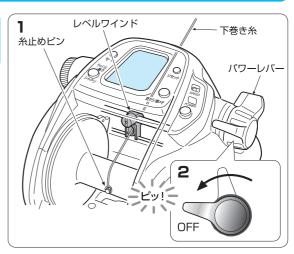
- 8. リセット スイッチを2秒以上押してく **8** ださい。 アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれ
- ※ Err になった場合は、モード スイッチを押して 始めから再度入力をしてください。

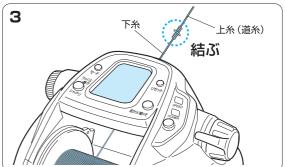


道糸入力方法「下巻き入力」

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

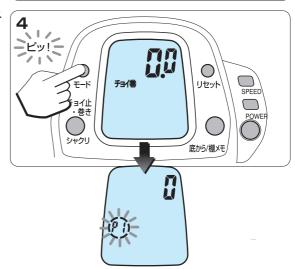
- **1.**下巻をレベルワインドに通してスプール に結び、通電させてください。
- ※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- 2.下巻用の糸を巻きます。
- ※パワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度 OFF位置(手前)に戻してから出力してください。
- 3.上糸をしっかり結びます。





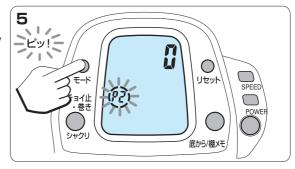
4.表示が 0.0 のときに モード スイッチ を5秒間押し続けてください。

P1 が点滅します。



5.入力画面になったらもう一度 モード スイッチを押して下巻き1入力画面にしてください。

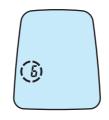
P2 が点滅します。



6.テンションをかけて残り100mになるまで道糸を巻いてください。

パワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります

※安全のため、パワーレンジでスタートしますが、 モーター過熱防止のため、スピードレンジに切り 替えて巻上げを行ってください。





パネル左下の数字がスピードレンジで6~8になるようにテンションを調整して巻いてください。

注意

- ・フィンガーカバーに糸があたると、リールが傷つくことがあります。 糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間 (※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し、故障の原因になります。できるだけ速いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
 - (※1)10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。
- **7.** リセット スイッチを2秒以上押して **7** ください。

P2 が点滅し、下のカウンターが **50** になります。 上のカウンターの数値は糸を巻くと増えていきます。

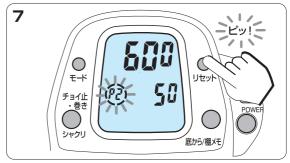
- **8.**テンションをかけて糸色に注意しながら 50mを巻いてください。
- **9.** リセット スイッチを2秒以上押して **9** ください。

下の数字が 100 になります。

- **10.**テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。
- **11.** リセット スイッチを2秒以上押して表示が 0.0 mになり完了です。

注 注意

- ・糸の端を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、 ハンドルで巻いてください。巻き込みますと カウンター誤差の原因になります。
- ※ Err になった場合は、モード スイッチを押して 始めから再度入力をしてください。



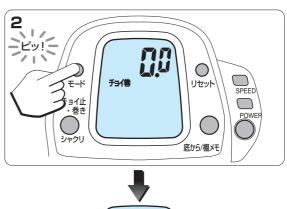


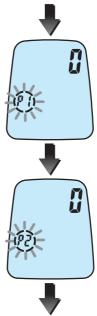


道糸入力方法「引出し入力」

道糸を巻き終わった状態から糸を引出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

- 1.通電させてください。
- **2.** モード スイッチを5秒以上押して P1 モードにします。



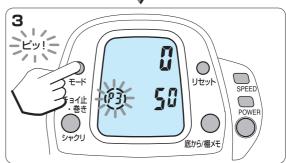




P3 が点滅します。

- **4.**糸のマークに注意しながら、50m引き出します。
- **5.** リセット スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が 100 になります。





- **6.**さらに糸のマークに注意しながら50m 引き出してください。
- **7.** リセット スイッチを2秒以上押して表示が 100.0 mになります。
- 8.引き出した糸を100m巻き取り完了です。





- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
- ・この入力方法で入力した場合は100mを超える範囲では、糸長を表示しない場合があります。
- ※ Err になった場合は、モード スイッチを押して 始めから再度入力をしてください。